

# とことん！



2022. 2. 22. Tue.

木更津市立木更津第一中学校第1学年  
学年だより“とことん！”第39号

文責 齊藤 梓



## ☆ リスペクトの素晴らしさ ☆

20日に冬季北京オリンピックが閉幕しました。日本チームは金メダル3個、銀メダル6個、銅メダル9個と、過去最高の合計18個のメダルを獲得する活躍を見せてくれました。ちなみに、メダル獲得数が一番多かった国はノルウェーで、金16個、銀8個、銅13個の合計37個だそうです。さすが、ヨーロッパの国々は冬季の競技では強さを発揮していましたね。そう考えると、日本チームも大健闘だったと思います。

みなさんは、印象に残っている競技や感動した場面はありますか？私も胸を打たれた瞬間がたくさんありましたが、すべては紹介しきれないので、いくつか掲載させていただきます。



写真①：朝日新聞 DIGITAL より 写真②～④：日刊スポーツ web より

### ①高梨沙羅選手（スキージャンプ）

混合団体戦でまさかのスーツ違反による失格。失意の中、チームのために飛んだ2本目。大粒の涙を流す高梨選手を、1位だったスロベニア代表のニカ・クリジュナル選手が抱きしめて励ます。

### ②平野歩夢選手（スノーボードハーフパイプ）

超大技「トリプルコーク1440」を五輪で初めて成功させて優勝。長年スノーボード界を牽引し、過去3度金メダルに輝いているアメリカ代表のショーン・ホワイト選手（今大会で引退を表明）が健闘を称え堅い握手。

### ③岩淵麗菜選手（スノーボードビックエア）

2本目まで4位。逆転を懸けた3本目に、女子では史上初となる「トリプルアンダーフリップ」に挑んだが、惜しくもバランスを崩して転倒。本人は涙を流すが、女子では異例の大技挑戦に各国の選手が駆け寄り称賛の嵐。

### ④ロコ・ソラーレ（カーリング）

決勝ではイギリスに3-10と敗れ、銀メダル。敗戦の悔しさを抱きながらも、優勝したイギリスチームを称え、笑顔でシェイクハンド、そして抱擁を交わすなど勝者に敬意を表した。



こうしたオリンピック精神や国境を越えたスポーツマンシップは、本当に美しいと感じます。なぜそのように感じるのか・・・それは、どの瞬間も、自分のためではなく「誰かのために」行動を起こしているからだと思います。最終的に勝敗は決まるが、努力をしてきたことはみんな一緒・・・その辛さや苦しさを知っているからこそ、ライバルである相手選手や他国の選手に対しても尊敬の念を抱くのでしょう。このような、勝敗を越えた所にある相手を尊重する心、大切にすること（＝リスペクト）こそ、人間としての本当の素晴らしさなのではないでしょうか。各競技の世界トップレベルで競うオリンピックの姿から、私達が学べることはたくさんありそうですね。





## ☆ 3月の行事予定 ☆

- 3日（木）3年生公立高校追検査
- 4日（金）3年生を送る会（1,2h）
- 7日（月）自転車点検日（昼休み）  
3年生公立高校合格発表
- 9日（水）3年生卒業式予行練習
- 10日（木）卒業式会場準備（5,6h）
- 11日（金）卒業証書授与式（AM）
- 14日（月）県標準学力検査
- 15日（火）全校評議会（放課後）  
3年生公立高校2次募集検査

- 17日（木）防災ジュニアハイスクール（2,3,4h）  
専門委員会（放課後）  
3年生公立高校2次募集合格発表
- 18日（金）1,2年生授業参観・保護者会  
\*開催方法については検討中です
- 22日（火）大掃除（6h）
- 23日（水）給食最終日
- 24日（木）修了式
- 31日（木）給食費口座振替日  
1学年最終日

1年間よく  
頑張ったな

